



..... 煙の上をグルグルと
..... 低空飛行は子ヤバメ
..... それを見守る親ヤバメ.



外遊びで疲れたのか
リュックも履くのに本筋のズボが
から来て困っている子に、さりげなく
ズボを外にくたしーちゃん.

「やさしいねー」「だって、ともだちだからー!!」
その優しい言葉に、心はホッとした。

..... 子育ては、ほんと一筋!!
カウスト負けしないで、いつとも帰っておいでー



—子どもとスモホ—

なぜ依存する

依存でなにが起きる

- **今**は当たり前になった、トニデモ仮説
肺がん —昔はとて珍しいがん
その後、肺がんは急増(原因不明)
タバコ?(当時は、あり得ない、トニデモない仮説—)
- 1950年 仮説 ⇒ 喫煙で肺がん増と発表
ほとんど受け入れられませんでしたー
- 10年以上経て、アメリカで発表
後さらに数十年遅れて日本 ⇒ 喫煙、
肺がん性

喫煙 20年 → 肺がん
タバコ

タバコラグのエピソード

肺がんの増加する約20年前頃、第二次世界大戦に前後に
それまでの葉巻 → 葉巻きタバコが大量生産、その消費が急増
その後、何十年も経て、肺がん 増

タバコを吸ったから、すぐに
肺がんになるわけではない

2階子とトイレのズリッパ、いつもキレイに
揃っていると感心しています。

- ☆ 向きを変えながら脱ぎ、最後に手を添えて
整える後ろ姿は、子どもには見えません。
美しです。「どうでもいいわー」そう話す
でも、次にトイレを使う人への優しさは心づかい
そうすることで、自分の心も清々に、着床感と
心地良さを覚えるのです。この積み重ねが大事。
心に点数もつけずにテストもない——
でも、心のあり様は、すべてに現れます。
将来、素晴らしい人材となります。あと一
しいの木保育園の自慢の子ども達は
一つ屋根の下、個性を抑えることなく
のびのびと育つと願います。

現在は当たり前と思われていることの中にも
当初は全く見当違いとされたものが、
特に原因と結果との間に長いタイムラグが
ある場合は、わかりにくいということ

今日、新たに現れてきた重大な問題

引きこもり = 引きこもり症候群

引きこもり症候群のきっかけ
学校でのいじめ、不登校、うつ病
発達障害がある人の二次障害など

肺がんの増加の前に
タバコ消費の増加

「引きこもり」増加の20~30年
前から、社会に何らかの変化が!

仮説の裏に、メディア
(スモホに限らずなく)

理由

引きこもり症候群の共通点
対人関係が苦手(特定)

コミュニケーションをはじめるとする
対人スキルが低い、対人スキルに
対峙し忍耐力が弱い → Xガア使用
になる

テレビ、子とビデオ、子

- ★ **テレビ、子**：子ども頃テレビはなかった、たのび見た、テレビがなければ
家族に訴える、でも他の人は別の番組を見た、と泣き出す **待つ時間**
でも待つこともその時事情で見えないかもしれない、この様な
一連のやり取りは、実社会に非常に近いものです。
やりたい仕事もあれば、つまらない仕事もある中で、やりたい仕事を
待つ時間もあれば、**ねいやらせて**とアピールできる場面もある。

- ★ **ビデオ、子**：録画さえしておけば、何の労力もなく好きな番組が
いつでも好きなだけ見られます。番組をめぐり交渉も待つ時間も
不要。ビデオが家庭に入ってきたとたん、コミュニケーションを忍耐力
も鍛える機会が減ってしまっています。———つまり、

つづきは、8月号——



